

新スポーツセンター基本計画検討会(第3回)

議事要旨

【開催概要】

日時:令和7年12月1日(月)午後3時30分～午後5時55分

場所:千代田区役所本庁舎6階601会議室

委員長: 早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授 木村 和彦

委員: 千代田区スポーツ推進委員 植田 浩敏

千代田区スポーツ協会 菅野 豊

千代田区健康づくり推進員 荘 絵里子

千代田区障害者共助会 鈴木 やす代

区立スポーツセンター避難所運営協議会 田熊 清徳

千代田区青少年委員 中村 あけみ

オブザーバー: ミズノ株式会社(指定管理者) 1名

事務局: 地域振興部生涯学習・スポーツ課 5名

【次第】

1 開会

2 議題

(1)スケジュール

(2)現施設の機能と規模について

(3)新たな機能について

(4)フロア配置・平面ゾーニングについて

(5)BCP 計画について

(6)バリアフリー計画について

(7)緑化促進・木材利用について

(8)事業方式について

(9)その他

3 事務連絡

今後の予定

4 閉会

【資料】

資料 第3回新スポーツセンター基本計画検討会資料

【議事要旨】

1 開会

2 議題

(1)スケジュール

●事務局 スケジュールについて資料に基づき説明。

(2)現施設の機能と規模について

●事務局 現施設の機能と規模について資料に基づき説明。

●事務局 現施設の機能と規模及び新たな機能については、前回ご欠席された委員に別途ご説明に伺い、ご意見を頂戴したので、そのご意見も反映した資料となっている。

◎委員長 この件について、質問・意見があればご発言いただきたい。

○A委員 「役員室」の位置と用途が不明であるため確認いただきたいことと、現状では大会時に主競技場内に本部席があり、競技中にボールが飛んでしまうため、「役員室」として計画している部屋があるのであればそこへ本部席機能を持たせられるとよい。

また、プール連盟からプールサイドが現状だと狭いという意見が出ているので、現状より広く計画していただきたい。

更に、ゴルフレンジは現在のように屋外ヘカゴ型のものを設置する予定であるか確認したい。

●事務局 ゴルフレンジは音が響くので近隣への配慮が必要とのご意見があり、基本的に屋内への設置を検討している。

○A委員 テニスコートは屋上へ設置する予定はあるか。

●事務局 スポーツセンターとして屋上に設備機器が配置されるため、利用できるかは設計段階で調整が必要である。屋上で球技を行う場合、ボールが外に出ないようにネットを張る必要があり、その高さが隣地斜線制限に抵触する可能性があるため、計画が成り立たない場合もあり、これらを含めて検討する必要がある。

○B委員 ゾーニング案では剣道場・柔道場を避難所として検討中で、防災備蓄倉庫をその上の階に整備する案のようだが、防災備蓄倉庫が同じフロアにあることに越したことはないが、フロアが大きく離れている現施設よりも改善されるものと感じた。避難所機能としては方向性①の拡充案であれば、主競技場を使わずに、柔道場・剣道場で足りる可能性もある。畳敷きの柔道場は高齢者や基礎疾患のある方、小さい子どもに適し、剣道場は健常者用として活用できるため、方向性①案でワンプフロアでの配置ができるのであれば、非常によいと思う。

○B委員 現スポーツセンターは旧神竜小学校跡地にあるが、その歴史が「神竜会議室」という名称でしか残っていないことに不満を持つ方もいる。名称で残すのではなく、メモリアル機能を持つ小規模なミュージアムを設け、スポーツの歴史や旧神竜小学校の存在を伝える方向で進めてほしい。

●事務局 メモリアル機能として、スポーツの文化・歴史や鎌倉河岸の歴史を紹介する機能を設置し、神竜小学校の要素も取り入れる方針を検討したい。

- 事務局 弓道場の2つの整備案についても意見を求める。方向性①の国内公式戦準拠案と、方向性②の現状維持案である。方向性②案の場合、方向性①案との差で生じる面積で、独立のアーチェリー場を整備することができる可能性もある。一方で、サブアリーナをアーチェリーでも利用できるような検討もありえるが、ご意見を伺いたい。
- A委員 サブアリーナでアーチェリーを行う場合、他の競技での利用もあるため、アーチェリーでサブアリーナをどの程度の頻度で利用できるかが関係してくる。アーチェリーは特別な設備を必要とせず、的と安全な距離の確保ができれば実施可能である。弓道場では、弓道の公式大会ができる広さを確保してほしいと考えている。一方で、弓道場は、資料にもあるとおり、多目的利用が可能という整備方針を明確に示し、アーチェリーを含め弓道以外の用途でも利用できるようにしてほしい。
- 事務局 弓道とアーチェリーの兼用は継続する方向性は確認できた。利用がバッティングした際にサブアリーナをアーチェリーで利用することも検討したい。
- オブザーバー アーチェリーは長い距離が必要なため、公式戦の実施場所については、ルールを十分に確認しておく必要がある。
- A委員 サブアリーナに器具庫はあるか。
- 事務局 設置予定である。
- ◎委員長 生涯学習施設の機能と規模について、ご発言いただきたい。
- C委員 日曜青年教室の料理教室の開催頻度を確認したい。
- 事務局 日曜青年教室の料理教室のプログラムは年2回程度である。
- C委員 区の広報誌で料理教室の募集をよく見かけるが、主な会場は万世橋区民館(調理室 94.8 m²/定員 60名)のようである。また、富士見区民館の調理室(58m²)をよく利用しているが、その倍以上あるスポーツセンターの料理教室はかなり広い。日曜青年教室での利用も年2回程度なのであれば、分割開催など工夫することでもう少し狭い部屋での実施も可能ではないか。
一方で、料理教室を狭くしても、余ったスペースが有効活用できなければ意味がない。他の部屋の面積が問題なく、なおかつ料理教室の面積も現状維持できるのであればそれはよいと考える。
- オブザーバー 日曜青年教室以外の大人数の利用では、2~3団体が月に数回利用している。利用者の規模感と比して広さは適切のようで、調理台は7台のうち5~6台を1台あたり4~5人で利用しているようである。
- C委員 料理教室の調理台に収納機能があり、他の区の施設の調理室にも準備室はほとんどないため、料理準備室は不要ではないか。
- D委員 現スポーツセンターには広い料理準備室があるが、以前使った鍋などが置かれているだけで、あまり活用されていない様子である。
- オブザーバー 以前の利用者が寄付した炊飯ジャーなどが置かれているが、不要品を整理し、料理教室内に収納機能を確保すれば、料理準備室は不要かもしれない。
- ◎委員長 第2回検討会でご意見頂いた日曜青年教室に対応できる規模の施設が区内に

ほかにあるかという確認事項に対しては、ないことが確認された。今後は、独立した調理準備室の必要性を再検討するとともに、利用率向上の工夫やアイデアに関する議論が必要である。現状の配置案では調理室がスポーツ施設と離れており、稼働率向上は難しいように思う。スポーツセンター内の料理教室として魅力ある空間にする方法を検討する必要がある。

●事務局 適正な規模については再度整理する。調理室のフロア配置は重要な検討事項であり、周辺の部屋との関係を踏まえ、ゾーニングを検討し、提案することとする。基本計画では利用率向上のための工夫をしていく方針を確定し、具体的な運用方法は今後の検討事項としたい。

○B委員 震災時に避難所が開設された場合、スポーツセンターの料理教室が機能している場合、活用することはできるか。

●事務局 災害時の利用については、震災でガスが止まる可能性や配置場所の検討も含め、複合的に検討していきたい。

○B委員 音楽室・映写室を広くすると良い。練習場所に困っているオペラグループの話を聞いた。ちよだ芸術祭の開催もあり、料理教室よりも音楽活動の需要が伸びていると思われるため、大部屋でコーラスができる遮音機能付きの音楽室があるとよい。

オブザーバー 第1多目的ルームにはピアノが置かれており、部屋が広いので、現在は金管楽器以外の演奏活動に利用されている。金管楽器は音楽室で演奏することになっているが、現状の音楽室はスペースが狭いため、広い部屋で演奏できる場所がなく、もう少し広い部屋の要望がある。また、第1多目的ルームは、防音設備がなく、合唱など大人数利用時は音漏れが発生している。隣が利用頻度の低い料理教室であるため現状は対応できているが、新スポーツセンターの第1多目的ルームは防音設備を設ける予定か確認したい。特に隣が事務室となる場合は、防音設備は必須と考える。民族楽器など響きやすい楽器での利用もあり、防音の配慮が求められる。

●事務局 現状の利用状況として金管楽器演奏やダンスが多いのであれば防音機能を設ける検討が必要になると考える。

◎委員長 頂いた意見を踏まえ、委員長と事務局で整理をしていく。

(3) 新たな機能について

●事務局 新たな機能について資料に基づき説明。

◎委員長 新たな機能についてご意見をお伺いしたい。

○A委員 医務室について要望が出ている。区民が簡単な健康相談を受けられる仕組みや、救急車を呼ぶほどではない軽度のけがに対して応急処置ができるスペースが必要との意見である。

また、1階では、店舗などの物販は検討されているのか。スポーツグッズの販売については、現在よりも更に商品を拡充し、大会参加者だけでなく、地域住民も購入できる仕組みにできないかという声がある。

- 事務局 医務室については、1階に整備を予定している。
また、カフェなのか店舗なのか、どのようなものが整備できるか検討が必要だが、1階に交流できる空間を整備したいと考えている。
- B委員 歩道からの出入口について、現在は階段を上って1階に向かう構造になっているが、フラットにする計画か。
- 事務局 そのとおりである。
- B委員 交流空間にカフェなどを設置する場合、川側の眺望についても考慮が必要である。岸壁があると、視界が遮られる。2階以上でないと川の景観を楽しむのは難しいのではないか。
- 事務局 護岸整備が計画に含まれるかは未定であるが、眺望に関しては護岸の整備方法によると考える。現状、川の水面は護岸の天端から約5メートル下にある。過去のハザードマップでも、この場所が浸水被害を受けた事例はないため、防潮堤のように視界を完全に遮る構造を設ける必要性は、現時点ではないと考えている。
- 事務局 東京都都市整備局が策定した「日本橋川周辺のにぎわい創出に向けた基本方針」に沿って、川沿いの歩行者空間や建物を通り抜けられる動線の確保を検討している。これにより親水空間の整備を進めたい考えである。
- B委員 将来的に首都高速道路が地下化され、眺望が大きく改善される予定であることを踏まえると、「交流空間」は東側に配置する方が望ましい。
- E委員 サブアリーナの付近に器具庫がない。器具庫は上の階にあるようだが、アーチェリー用具などをどのように運搬するのか課題である。
- 事務局 器具庫はサブアリーナと同じフロアにある必要があることを踏まえ、再検討する。
- B委員 都税事務所や水道局がある建物の地下は、以前は食堂だったが、現在は千代田区の埋蔵文化財の収蔵庫になっている。この機能は将来的に新スポーツセンターへ移設する予定なのかについて確認したい。
- 事務局 東京都千代田合同庁舎の地下に「内神田収蔵庫」がある。この収蔵庫は整備後の建物にも、現状と同程度の規模で組み込む方向で文化振興課から要望がある。
- B委員 メモリアル機能を活かすため、文化振興課の学芸員に協力してもらうアイデアはどうか。浮世絵などの中にスポーツに関連する文化資料があれば、スポーツセンターで展示もするのよいいのではないか。

(4)フロア配置・平面ゾーニングについて

- 事務局 フロア配置・平面ゾーニングについて資料に基づき説明。
- ◎委員長 オブザーバーに質問だが、卓球場は台を片付けて他の用途に使うことはあるか。
- オブザーバー 当該スペースは空手、体操、ボッチャなど多様な競技で利用されている。しかし、卓球台を収納する場所がなく、現在は端に寄せてどかしている状態である。中規模程度の広さがあるため、小さい部屋では行えない競技をする利用者が多い。
- ◎委員長 「卓球場」という名称で施設を設置することの適否を検討したい。稼働率が高いのは承知しているが、むしろ、サブアリーナを広げ、卓球台の収納場所を確保し、多用途に利用できるようにするほうがよいいのではないか。

- 事務局 アンケート結果からも卓球利用拡大の要望が一定数あり、需要はあると考えられるため、資料では「卓球場は卓球台を収容できるスペースを整備する」とした上で、卓球場として整備する方針としている。一方で、ダンスなど他用途でも利用されており、「卓球場」とするのか、別名称にするのかについては検討が必要である。「卓球場」という名前をなくした場合の利用者の反応も考慮し、慎重に検討する必要がある。
- A委員 卓球連盟は比較的区民の多い連盟であることもあり、卓球場は独立した施設とする方が望ましいと考える。サブアリーナで共有とすると、他競技との利用が重なった際に支障が出る可能性がある。名称も含め、独立性を確保する方向で検討することが望ましい。
- E委員 スポーツセンターの機能を縦の動線で各階をつなぐことに、どの程度の意味があるのか。狭いスペースに無理に配置しているように見える。それならワンフロアを東京都の施設とする案もあるのではないかな。
- 事務局 図面上は狭く見えるが、実際には敷地が相当広いので、一つ一つの諸室は現施設と同規模であり、狭いわけではない。縦動線が繋がっていないと、スポーツセンターの利用者や職員の移動、作業の際に支障があるのではという配慮に基づいた案である。
- オブザーバー 朝に全室を開けるなどの作業がある。その際、縦方向で移動したほうが、横方向にフロアの端まで行くよりも効率的である可能性がある。ただし、複数フロアに分散されている部屋が同一フロアに集約されるのであれば、そちらのほうが楽だとも考えられる。
- B委員 都の施設は同じ建物に入っているが、完全にセキュリティが分かれていて、同じフロアでも相互には入れないということで認識している。スポーツセンター側を縦動線につなげた計画だと思うが、生涯学習施設やスタッフスペース、備蓄倉庫などを組み込むことで、有効利用していると考えられる。
- D委員 水屋が茶室の入口に配置される予定か、また、和室と茶室の広さについて確認したい。
- 事務局 水屋は茶室の中に配置する予定であるが、具体的な設えは今後の検討項目となる。茶室と和室の広さは、21 畳と 4.5 畳で検討しているがよいか。
- D委員 よい。
- B委員 屋上に広範囲に太陽光パネルの設置を検討しているのか。屋上がパネルだけのスペースにならないよう、ボイラーやキュービクルの上部に配置すれば、スポーツセンターのために屋上を活用することが可能になるのではないかな。また、ペロブスカイトのような軽量の太陽光パネルを採用すれば、ネットを張ってその上に設置できる可能性もあるのではないかな。それから、屋上への設置ではなく川沿いの壁面に設置することなども検討できるのではないかな。ペロブスカイトは純国産品であり、熱交換効率についても今後更に進化が見込めるので、検討していただきたい。
- A委員 屋上の広場エリアはできるだけ確保してほしい。足湯の設置など、活用できるので

はないか。

- 事務局 太陽光パネルを設置する場合、周囲にはさまざまな機械があるため、メンテナンスを適切に行えるかどうかの観点でも検討する必要がある。ペロブスカイトなど新しい技術革新も進んでいるため、設計段階でどのような方式を採用できるかを見極めることが重要である。一方、導入には相応の費用がかかると考えられるため、予算面も含めて慎重に検討していきたい。
- A委員 シャワールームはどこに配置されているのか。主競技場と同フロアに更衣室(シャワールーム)がないようである。
- 事務局 下の階に検討している。主競技場を最優先で配置するため、ほとんどの面積が競技場で占められる見込みである。同一フロアには必要な施設を優先的に配置する方針であり、放送室と器具庫を計画しているが、更衣室も同フロアに必要なとなれば器具庫の数や面積を減らす必要があり、調整が必要となる可能性がある。下の階のシャワールームは、相撲場用ではない。相撲場専用のものは相撲場の計画面積の中に配置する予定である。
- A委員 サウナを作るとすればどこに設置されるのか。
- 事務局 新しい機能として温浴施設を導入するかどうかという議論が基本構想段階であったが、もしサウナを設けるとすれば、主競技場の下の階が考えられる。
- A委員 できればシャワーなどと一緒にフロアにあるとよい。
- 事務局 廊下部分のスペースを減らして、ほかの部屋を整備するのはなかなか難しい。大きな大会で選手が多数集まる場合、通常の事務室レベルの狭い廊下では混雑し、危険な状況になる可能性があるため、幅のある廊下が必要だと考えている。主競技場は、各競技の国内基準を満たした面積の確保を最優先に検討してきたため、それ以外の部分は限られたスペースとなっているが、主競技場と同じフロアにシャワー室を設けるべきか、器具庫をどの階に配置するのが適切かといった意見を伺い、どのように反映できるかを検討していきたい。
- F委員 同フロアにシャワー室があっても、相撲場にはお風呂を設ける必要があるのか。
- オブザーバー 体に砂が付いているため、周囲がすぐに汚れてしまったり、まわしを着けていたりするため、相撲場内で完結した方が、周囲の方にとっても良いと思われる。
- E委員 主競技場について、放送室が廊下を挟んで配置されると意味がない。器具庫も同様で、廊下越しではなく、主競技場と接していないと器具の出し入れがしづらくなる。
- ◎委員長 同意見である。観客席の下を器具庫として活用する案が比較的多いようである。ぜひご検討いただきたい。
- オブザーバー 器具庫には卓球台など重いものが多く収納される。こうしたものを移動する際、隣接していないと出し入れが非常に大変である。また、主競技場を団体で利用する場合、ネットの設置は利用者自身が行うため、重いバレーボールのポールなどを移動するのも負担が大きくなる。こうした点から、器具庫は競技場に隣接していた方が、出し入れの利便性が高いと考えられる。

- 事務局 頂いた意見を踏まえて検討を進める。
- (5)BCP 計画について
- (6)バリアフリー計画について
- (7)緑化促進・木材利用について
- 事務局 BCP 計画、バリアフリー計画、緑化促進・木材利用について、資料に基づき説明。
- ◎委員長 議題(5)(6)(7)を合わせて、ご質問、ご意見を伺いたい。
- E委員 BCP 計画とは何か。
- 事務局 Business Continuity Plan(事業継続計画) の略で、緊急事態が発生した場合でも、重要な業務を中断させないための計画のことである。
- (8)事業方式について
- 事務局 事業方式について資料に基づき説明。
- ◎委員長 ご意見、ご質問があれば発言いただきたい。
今回の基本計画書で事業方式が決定されるか。
- 事務局 事業方式の比較を記載することを想定している。
- (9)その他
- ◎委員長 これまでの事項やスポーツセンター全般についてご意見やご質問があればお願いしたい。
- B委員 柔道場・剣道場が避難スペースとして確保されているのは喜ばしいことである。一方で、防災備蓄倉庫が上の階にあるため、物資を搬出する際には階段を降りる必要がある。高齢者や子ども、動きにくい方がいる場合、手作業での搬出は困難であるため、簡単に下ろせる方法を検討していただきたい。
また、現施設は、外部の現バイク置き場の 2 か所のマンホール部分に災害時に簡易トイレを設置することとしている。その際、防災備蓄倉庫からトイレ用のパネル機材を搬出して設置することになる。仮設トイレの機材がすぐ近くにあり迅速に設置できるマンホールトイレの案も検討いただきたい。
- A委員 図面については、今後、委員だけではなく一般の方も目にするようになるため、利用者視点では通り側の入口を正面にした図面の方が分かりやすい場合がある。場合によっては、反対側からの図面も必要ではないか。
- 事務局 平面図については一般的に北を上にして作成するのが基本であるが、断面図については、利用者の視点を考えると、道路側から見た断面図も用意するなどの工夫ができると考える。
- B委員 空地ができると思うが、そこについては今後プランが出てくるのか。
- 事務局 隣接する空地については、所有地であるため、活用方法について調整しながら検討していきたいと考える。本日は、まず建物部分に関する検討を進めていただければと思う。
- B委員 町会の防災倉庫についても、よろしくお願ひしたい。
- ◎委員長 それでは、事務局は基本計画の策定に向けて、委員の皆様の意見を踏まえて業務を進めてほしい。

3 事務連絡

●事務局

第4回検討会は、1月頃の開催予定。日程調整については、改めて連絡する。

4 閉会

以上